



「本のまち八戸」関連事業
「(仮称)八戸ブックセンター」プレ事業

本のまちをつくる

なんだろう あやしげ
南陀楼 綾繁
(一箱古本市発案者)



うちぬま しんたろう
内沼 晋太郎
(ブックコーディネーター)



小林 眞
(八戸市長)



2016年オープン予定の「(仮称)八戸ブックセンター」をプロデュースしているブックコーディネーター内沼 晋太郎氏と、一箱古本市の発案者で、全国で古書や本に関するイベントを開催している南陀楼 綾繁氏、そして八戸市長 小林 眞の3名でお送りするトークセッション。「本のまちをつくる」をテーマにこれからの八戸が目指す『本のある暮らし』について語ります。

日 時：2016年 **1月30日(土)** 15:00~16:30

場 所：八戸ポータルミュージアム はっち
1階 はっちひろば

参加料：**無料**
[事前申込不要]

2016年八戸市中心街にオープン予定

八戸ブックセンター Hachinohe Book Center

八戸に「本好き」を増やし、
八戸を「本のまち」にするための、
あたらしい「本のある暮らしの拠点」。

八戸市は、「本のまち八戸」を目指しています。「本のまち八戸」とは、「本のある暮らしが、あたりまえのまち」を目指すもので、これまで赤ちゃんを対象とした「ブックスタート事業」、小学生を対象とした「マイブック推進事業」を実施してきました。そして2016年「本のまち八戸」の拠点施設として、「(仮称)八戸ブックセンター」がオープンします。

《出演者プロフィール》



南陀楼 綾繁 (なんだろう あやしげ)

1967年、島根県出雲市生まれ。ライター・編集者。出版、古本、ミニコミ、図書館など本に関することならなんでも追いかける。2005年から谷中・根津・千駄木で活動している「不忍ブックストリート」の代表として、各地のブックイベントに関わる。「一箱本送り隊」呼びかけ人として、石巻市で本のコミュニティ・スペース「石巻まちな本棚」の運営にも携わる。著書『一箱古本市の歩きかた』(光文社新書)、『谷根千ちいさなお店散歩』(WAVE出版)、『小説検定』(新潮文庫)、『ほんほん本の旅あるき』(産業編集センター) ほか。

内沼 晋太郎 (うちぬま しんたろう)

1980年生まれ。Numabooks 代表/ブック・コーディネーター/クリエイティブ・ディレクター。異業種の書籍売り場やライブラリーのプロデュース、書店・取次・出版社のコンサルティングをはじめ、本にまつわるあらゆるプロジェクトの企画やディレクションを行う。2012年、東京・下北沢にビールが飲めて毎日イベントを開催する本屋「B&B」を博報堂ケトルと協業で開業。主な著書に『本の逆襲』(朝日出版社)がある。現在は、八戸市が計画する「(仮称)八戸ブックセンター」のディレクション業務も務めている。

